



### お助けマン参上！

先日、小学3年生の安部湊人さんが図工の時間に段ボールで作った剣やスーツを身にまとい、学校の「お助けマン」に扮して、学校の「困っていることはないですか？」と校長室に聴きにきてくれました。その時に「みんなが職員室に帰りのあいさつをしに来てくれるけど、あいさつの声が小さいなあ、と思っているのですが。」と相談すると、「じゃあ、ポスターを書きましょう！」と書いてくれました。先日、「できました！」と持ってきてくれたので、早速、職員室の入口にポスターを貼りました。「これで、良いですね！」と笑顔でした。「お助けマン」のサポーターである覚さんも一緒にポスターが貼られているのを確認してくれました。子ども達の発想や、実行力がこうやって身に付くのだな、と感心しました。



### 小学校誕生日会開催

小学生が、9月から2月までの児童・職員のお誕生日会を開いてくれました。この日は残念ながら5年生の担任が不在でしたが、5年生の3人はしっかり上級生としての責任を果たし、司会やゲームの進行をしてくれました。ゲームでは宝探しに夢中になり、外れたら思い切りがっかりして、職員の方が楽しみながら時間を過ごしました。「大人げない・・・」と思いつつ、勝負は真剣勝負です。勝者への拍手は、うらやましい気持ちを半分持ちながら、尊敬の気持ちを込めて。南那美さんに金メダルをもらって、夏井教頭先生と

橋本先生が嬉しそうでした。「いつ誰が…ゲーム」も面白いワードを出せるかの勝負でしたが、みんな大笑いしながら楽しみました。ゲーム進行の湊人さんが、きちんと引き分けにしてくれたので最後はみんなで笑顔の記念撮影となりました。



↑金メダル獲得に喜ぶ3人！！



↑最後は笑顔で！！

### 只今、受検まっただ中！

中学校3年生の4人は、只今受検のまっただ中です。優樹さん以外は地元の高校を受検するため、久賀を離れて帰省しています。既に受検や発表を終えている受験生もいますが、3年生の教室は、感染症防止のための待機や、発表までの時間を地元で過ごすため、登校していない生徒もいます。教室に優樹さんが1人、という日もありいつもは賑やかな3年生の教室が、静まりかえって寂

しかったです。この日の授業は優樹さんと、潤奈さんの2名だけでした。



3年生の受検については、県外との往来をしなければいけないため、感染症が心配です。しかし、たくさんの地域の方々の「受検、頑張れ！」という励ましを子ども達は心強く思っています。皆様のご理解に感謝いたします。

## 中学生、学年末に向けて

3年生の受検に刺激を受けて、1、2年生の授業も活気にあふれています。久賀中学校の少ない人数のメリットは、先生との心の距離が近いということです。授業中にわからないことがあっても、投げやりになる生徒は一人もいません。授業はいつも、全員が手を挙げ、自分の意見を発言したり、自分とは違う意見を受容したりする温かな



時間があります。本校では子ども達が「学校に来て、なぜ勉強するのか」を考えるのではなく、子ども達自身の「わからないことを勉強したい」という環境や思いを大事にしたいと思っています。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るって丸2年。子ども達の学びの場が心配された時期もありますが、子ども達が学校に元気に登校してくる限り、職員は子ども達の思いに応える努力をしていきます。ご支援よろしくお願いたします。



## 「先生、見て！」の先に…

先日、朝のあいさつ運動が終わった後に、中学生が「先生、見て、見て！」と指を指すので、その先に視線を移すと、背の高い山茶花の木に、たくさんのピンクの花が咲いていたのですが、その木の上の方に白い花が一輪だけ混じって咲いていました。まるで、誰かがそっと置いたように咲く、白い花をみんなで、へえ～と眺めていると、見つけた中学生は「めずらしいですね、これだけ白って！」と興奮気味に話した後、あっという間に次の活動の場所へ移動して行きました。何気ない朝の時間でしたが、子ども達の感性が磨かれていると実感し、ほっこりしました。

年度末には学校の俳句集「久賀の四季」が発行されますが、子ども達の感性あふれる俳句がたくさんあります。ご覧いただきたいと思います。

